

高 監 委 第 1 2 号
平成26年6月19日

高島市長 福井 正明 様

高島市監査委員 井口 與嗣隆

高島市監査委員 山川 恒雄

財政的援助団体等（指定管理者）の監査結果に関する報告書の提出について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき執行した財政的援助団体等（指定管理者）に係る監査の結果について、同条第9項の規定により別紙のとおり提出します。

財政的援助団体等（指定管理者）の監査結果に関する報告書

第1 監査の対象団体

名 称 マキノ高原観光株式会社
所在地 高島市マキノ町牧野931番地
資本金 11,000千円
設 立 平成11年10月1日

第2 監査に係る公の施設

管理施設 マキノ高原自然体験交流施設
指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで
所管課 商工観光部観光振興課
施設概要 マキノ高原温泉さらさ、ハイランドアリーナ、交流広場（デッキサイト、広場・野営場サイト、林間サイトおよびグランドゴルフ場）、マキノ高原野外活動施設（野外活動広場、テニスコート、オリエンテーリングコースおよび自然遊歩道）
業 務 (1) 自然体験交流施設の施設および設備の提供に関する業務
(2) 観光情報の発信と観光振興を図るための各種事業の実施に関する業務
(3) 地域交流と観光レクリエーションの場の提供に関する業務
(4) その他自然体験交流施設の設置の目的を達成するために必要な業務

第3 監査期間

平成26年4月9日から平成26年6月18日まで

第4 監査の方法

監査は、主に平成25年度および平成26年度監査執行時点までの公の施設の指定管理業務に係る出納その他の事務が、法令および協定書等に従い適正かつ効率的に執行されているかを主眼として、指定管理者および所管課から説明を聴取するとともに、決算報告書および抽出による関係諸帳簿、証書類等の調査ならびに施設内の視察（踏査）を実施した。

第5 団体の概要

(1) 沿革

マキノ高原観光株式会社は、それまで牧野区（観光事業組合＝みなし法人）が運営してきた観光関連事業を引き継ぐとともに、温泉等の新たな事業拡大に対応するため、区民全額出資により設立された牧野区有の会社である。

(2) 組織（平成26年4月1日現在）

役 員 9名（代表取締役1名、取締役6名、監査役2名）

※うち常勤役員は2名である。

職員 32名（正社員6名、パート22名、アルバイト4名）

※正社員のうち2名が取締役に選任されている。

※パート職員のうち社会保険加入者は6名、雇用保険加入職員は22名である。

(3) 高島市との関係

公の施設の指定管理者

マキノ高原観光株式会社は、合併前の平成16年12月27日からマキノ高原自然体験交流施設の指定管理者となっている。現在、平成25年4月1日から平成30年3月31日までを指定期間として、基本協定書が締結されており、平成25年度は納付金として300,000円が納付されている。

(4) 収支状況

当該団体の直近の決算書によると、第15期(H25.1.1~H25.12.31)の経営成績は、営業損失が882,271円、経常利益が1,932,717円であり、税引後の当期純利益は1,747,217円となり、前期に比べ937,736円増加している。これは費用面において、電気や灯油単価の上昇に伴い、前期に比べ電気代が2,134千円、灯油代が1,347千円それぞれ増加し、販売費・一般管理費全体では、5,656千円増加しているものの、収益面において、高原部門うちトレッキングを含むキャンプ売上が、6,706千円増加するなど、全体の売上高が、6,724千円増加したためである。

直近5期の決算を比較すると、第11期および第12期は経常利益を計上している。これは減価償却を行っていないことが大きな要因で、減価償却を行った第13期は経常赤字となっている。経費節減等の経営努力により第14期以降は経常利益を計上している。しかしながら、スキー場およびキャンプ場等の屋外レクリエーションは、天候等によっては大幅な減収となることもあり、加えて、電気料金の値上げや灯油単価の上昇に伴う費用の増加等の不安要素を抱えているため、今後、利用者ニーズを把握し、さらなる経営改善に努められたい。

なお、今回、監査対象とするのは指定管理業務に係る出納その他の事務の執行であるが、指定管理業務とそれ以外の業務が経理上一体となっており、指定管理業務に係る収支状況を判断できる資料がないため、本件収支状況については、当該団体全体の収支状況となっている。

第6 監査の結果

監査の結果、指定管理者に係る出納その他の事務は、概ね適正に行われているものと認められた。

なお、改善が望まれる事項および意見等は次のとおりである。

【改善事項等】

(1) 指定管理者への指導監督について

監査を通して、指定管理者の事務処理に改善を要するものが見受けられた。所管課である観光振興課は、指定管理者に対して、基本協定書等の遵守について必要な指導

を行うとともに、公の施設の設置者として、基本協定書等で定めた管理運営業務の履行状況、経費の収支状況等を的確に把握し、適正な指導監督責任が果たされるよう、なお一層努められたい。

(2) 基本協定書に基づく適正な事業報告について

基本協定書において、指定管理者は年度事業報告書を作成し、市長に提出しなければならないと定められているが提出されていない。この報告書に代わるものとして、当該団体の決算報告書が提出されているものの、団体の会計年度は1月1日から12月31日であり、一方、基本協定書で定められた会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日となっており、会計年度に差異が生じている。4月から12月までの収支と、1月から3月までの収支を整理し、基本協定書に定められた会計年度の指定管理業務に係る収支状況を明確にした適正な事業報告書の提出を求められたい。

加えて、基本協定書に基づく月次事業報告書は提出されているものの、管理経費等の収支状況や温泉以外の売上状況が報告されておらず、基本協定書に定める事項の報告書となるよう指定管理者に対して厳しく指導されたい。

さらに、月次事業報告書に記載された利用者数は、利用料金を徴収した件数等により算出されているが、温泉における回数券購入に伴う無料入湯者（1回分）やグランドゴルフにおける年間メンバー券購入による利用者などが適正にカウントされていない。

施設の利用状況は、指定管理者における施設の管理運営の実態把握および業務を評価するための重要な指標の一つであることから、適正な利用者数の把握に努められたい。

(3) 指定管理業務に係る収支の明確化について

マキノ高原は、牧野区（観光事業組合／みなし法人）が運営していたスキー場事業を出発点としており、本件監査対象である指定管理施設の管理運営業務とスキー場事業（駐車場・キッズパーク等）およびこれらに付帯する各事業が不可分一体に運営されている。こうしたことから、経理上も指定管理業務とそれ以外の業務の区分けが明確になされていない。

団体から提出された決算報告書の付属資料には、事業ごとの損益計算書や売上明細等が添付されているが、指定管理業務とそれ以外の業務が混在しているため、提出された資料からは指定管理業務に係る正確な収支状況等が把握できない。

指定管理者から提出される収支報告書等は、指定管理業務の状況を把握し、今後の事業運営に反映するための基礎的な資料であり、次期の指定管理者募集の際には、標準的収支の積算の基礎となる重要な資料の一つであることから、指定管理業務の正確な実態を把握するため、改めて市と指定管理者双方で精査されるとともに、指定管理業務に係る収益および費用とそれ以外のものを区分した収支計算書を作成するよう指導されたい。

(4) 利用料金の設定・承認について

条例には、裸浴槽使用と、全館（裸浴槽＋バーデゾーン）使用の2種類の料金が定められているが、バーデゾーンのみを希望される利用者に応えるため、任意に利用料金が設定されているなど、条例に定めのない利用料金が設定されている事例が見受け

られた。加えて、裸浴（お風呂） 11枚綴り回数券、平日特別お風呂30枚綴り回数券、特別割引券（10%割引）およびグランドゴルフにおける年間メンバー券など市長の承認を得ていない独自の割引が行われていた。

利用料金は、指定管理者が条例および規則に定める使用料の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て定めるものとされており、利用料金の減免についても、承認が必要とされていることから、実態を確認のうえ適正な措置を講じられたい。

(5) バーデゾンの利用拡大について

決算書第15期（平成25年）の温泉入館人数をみると、裸浴95,680人、全館6,523人、バーデゾーン4,825人となっており、全体の入湯者数に占めるバーデゾーン入湯者の割合は年々減少している。温泉部門の赤字が拡大している状況にあるが、費用に占める水道光熱水費の割合の高さを考えると、バーデゾンの不振が赤字の要因の一つとなっていると思慮されることから、改善計画を策定し利用拡大に努められたい。

(6) レストラン増築に伴う管理業務収支計画書の見直しについて

本年度は、マキノ高原温泉さらさのレストラン増築が予定されており、グランドゴルフ大会の誘致、団体観光バスの誘客および地元団体利用の増加による集客増とこれに伴う増収が期待されている。

指定管理者から提出されている管理業務収支計画書はこうした投資による効果や電気・燃料単価の上昇等の経営環境の変化を反映したものとなっていないことから、改めて適正な管理業務収支計画書となるよう指定管理者と協議されたい。

また、今後においては、レストラン増築による投資効果が発揮できるよう、着実な集客増に努められるとともに、温泉事業や販売事業等へ波及するような施設運営を展開し、経営の安定化に努められたい。

(7) 経理規程等の整備について

団体の就業規則（賃金および諸手当の基準等を含む）は整備されていたが、決裁規程や経理規程は整備されていなかった。経理規程は組織的な会計事務を行う上で基本となるものであり、経理の透明性の観点から、会計事務に関し必要な事項を定める規程の整備について、指導・助言を行われたい。

また、契約に関しても、入札や少額随意契約の限度額等について、法人内における具体的な取扱いが明確には定められていなかった。市の財政的援助等を受けている団体の運営には、市と同様に効率性や経済性が求められており、規程を整備し透明性を高める必要があると考える。

(資料)

損益計算書の年度比較

(単位:円)

	第11期 (H21)	第12期 (H22)	第13期 (H23)	第14期 (H24)	第15期 (H25)	
売上高	142,408,527	149,535,229	141,161,878	137,657,138	144,381,262	
内 訳	キャンプ売上	28,078,160	24,404,266	22,375,085	22,578,150	28,229,365
	駐車場売上	2,059,921	6,912,222	7,966,486	7,376,148	5,393,356
	体育館売上	1,133,933	1,573,604	1,566,118	1,432,272	868,137
	キッズパーク売上	2,062,486	6,492,546	7,479,785	7,037,608	5,279,161
	トレッキング売上					1,054,790
	グランドゴルフ売上	6,465,086	6,421,508	5,416,386	5,008,688	5,305,479
	売店売上	7,244,997	6,843,177	7,006,483	6,694,518	6,851,541
	グランド売上					152,861
	レストラン売上	31,811,848	33,545,627	30,250,520	30,906,649	31,882,160
	温泉売上	60,610,276	60,345,677	56,362,852	54,563,054	56,126,751
自販機売上	2,941,820	2,996,602	2,738,163	2,060,051	3,237,661	
売上原価	32,206,830	32,571,665	35,066,584	32,607,225	33,596,119	
販売費・一般管理費	105,764,931	112,518,409	116,464,789	106,011,404	111,667,414	
営業利益(△損失)	4,436,766	4,445,155	△10,369,495	△961,491	△882,271	
営業外収益	5,143,279	4,209,266	3,257,355	2,813,136	3,634,518	
営業外費用	1,212,749	1,125,867	1,105,429	856,664	819,530	
経常利益(△損失)	8,367,296	7,528,554	△8,217,569	994,981	1,932,717	
特別利益	4,049	68,327	26,067,791	1,604	2,124	
特別損失	98,201		387,667			
税引前当期純利益(△損失)	8,273,144	7,596,881	17,462,555	996,585	1,934,841	
法人税、住民税及び事業税	189,549	188,586	187,349	187,104	187,624	
当期純利益(△損失)	8,083,595	7,408,295	17,275,206	809,481	1,747,217	
参 考	温泉入湯者数	115,785	113,458	107,611	104,678	107,028
	電気使用料	11,647,132	11,413,593	11,830,478	12,646,946	14,781,275
	農業集落排水使用料	10,115,960	10,103,390	6,988,400	5,421,520	5,909,490
	灯油使用料	10,847,600	12,807,000	15,217,000	13,970,000	15,316,700

貸借対照表(平成25年12月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産	25,879,718	I 流動負債	11,231,116
現金	2,228,744	買掛金	1,568,653
小口現金	83,720	未払金	8,519,937
普通預金	18,769,874	預り金	634,902
売掛金	72,390	預り入湯税	188,950
たな卸資産	2,811,365	受託商品預り金	22,329
仮払金	535,500	仮受金	110,845
前払費用	1,376,001	未払法人税等	185,500
未収還付税金	2,124	II 固定負債	46,444,000
II 固定資産	31,723,534	長期借入金	46,444,000
有形固定資産	31,704,194	III 引当金	0
建物	15,739,296		
付属設備	29,572,544	負債合計	57,675,116
構築物	6,501,306		
機械装置	26,052,061	純資産の部	
車輛運搬具	3,646,942	I 株主資本	138,300
什器備品	11,383,827	資本金	11,000,000
減価償却累計額	△61,191,782	利益剰余金	△10,861,700
無形固定資産	0	その他利益剰余金	△10,861,700
投資その他の資産	19,340	繰越利益剰余金	△10,861,700
III 繰延資産	210,164	純資産の部合計	138,300
資産合計	57,813,416	負債・純資産合計	57,813,416

第15期(H25.1.1~H25.12.31)部門別損益計算書

(単位:千円)

□	キャンプ場	体育館他	レストラン	温泉・自販機	グランドゴルフ	売店	スキー事業		合計
							駐車場	キッズパーク他	
売上	28,352	1,592	31,366	59,044	5,305	6,970	5,417	6,334	144,380
売上原価			27,155	2,348		4,092			33,595
人件費	6,458			23,295	1,543	2,618	2,302	1,130	37,346
水道光熱費	1,857	230		36,491			400		38,978
消耗品費	1,698	16		2,850	238	7	36	233	5,078
修繕費	3,581			3,231			114		6,926
減価償却費	1,517	157		565	299		2,974		5,512
地代家賃	2,310			515	95		20		2,940
その他販管費	5,877	171		6,815	1,076	81	821	46	14,887
営業利益	5,054	1,018	4,211	△17,066	2,054	172	△1,250	4,925	△882
雑収入他	2,917			706	5	1	5		3,634
繰延資産償却他	187			605		27			819
経常利益	7,784	1,018	4,211	△16,965	2,059	146	△1,245	4,925	1,933

温泉入湯者数比較表

(単位:人・%)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
裸浴	106,437	121,852	123,741	129,276	120,966	110,459	104,067	101,249	100,916	95,377	92,509	95,680	
全館	17,108	17,479	15,026	12,097	11,208	11,242	8,808	8,111	7,140	6,696	7,839	6,523	
バーデゾーン	14,095	12,720	10,284	10,433	8,821	7,403	7,439	6,425	5,402	5,538	4,330	4,825	
計	137,640	152,051	149,051	151,806	140,995	129,104	120,314	115,785	113,458	107,611	104,678	107,028	
内訳	裸浴(大人)	92,190	104,005	105,105	109,079	101,456	92,806	85,916	82,813	81,792	76,341	74,318	76,546
	裸浴(小人)	14,247	17,847	18,636	20,197	19,510	17,653	18,151	18,436	19,124	19,036	18,191	19,134
	全館(大人)	13,143	13,066	10,857	8,688	8,199	8,105	6,129	5,566	4,888	4,491	5,247	4,231
	全館(小人)	3,965	4,413	4,169	3,409	3,009	3,137	2,679	2,545	2,252	2,205	2,592	2,292
	バーデゾーン(大人)	9,717	8,499	6,711	7,051	5,512	4,582	4,797	3,910	3,341	3,247	2,305	2,702
	バーデゾーン(小人)	4,378	4,221	3,573	3,382	3,309	2,821	2,642	2,515	2,061	2,291	2,025	2,123
利用率	裸浴(%)	77.3	80.1	83.0	85.2	85.8	85.6	86.5	87.5	89.0	88.6	88.4	89.4
	全館(%)	12.4	11.5	10.1	8.0	8.0	8.7	7.3	7.0	6.3	6.2	7.5	6.1
	バーデゾーン(%)	10.2	8.4	6.9	6.9	6.3	5.7	6.2	5.6	4.8	5.2	4.1	4.5

